


## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎



3月のアルミ概況及び4月の見通し (2)

### 予想レンジ

LME 現物後場買い	2,300-2,500ドル	●
スクラップ	-10円	●
為替	135円~140円	変わらず
(1か月間TTM)		

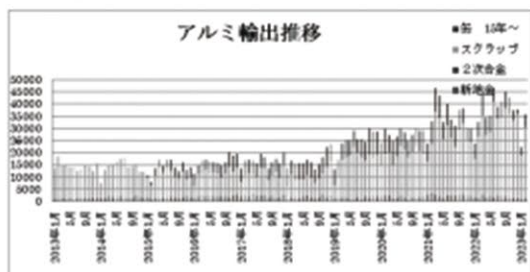
## ◆貿易指標

## 【輸出】

新地金は+124.4%の267 t。  
二次合金は-30.3%の885 t。  
スクラップは+15.8%の2万9,259 t。  
アルミ缶は-12.1%の5,205 t。

輸出	12月	1月	2月
新地金	250 t	98 t	267 t
前年比	+82.5%	+46.3%	+124.4%
二次合金	1191 t	829 t	885 t
前年比	-40.4%	-46.2%	-30.3%
スクラップ	3万4303 t	1万7903 t	2万9259 t
前年比	+52.9%	+12.7%	+15.8%
缶	2110 t	3727 t	5205 t
前年比	-60.6%	-39.4%	-12.1%

## 輸出推移



出典 財務省貿易統計

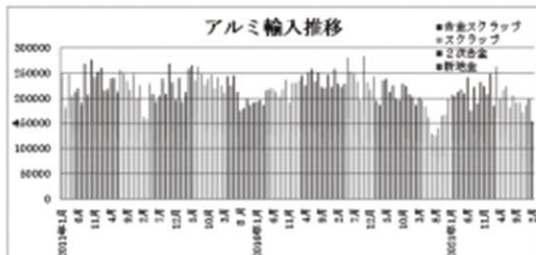
## 【輸入】

新地金は-28.8%の7万1,971 t。  
二次合金は-1.6%の8万2,184 t。  
スクラップは-42.5%の260 t。  
合金スクラップは+26.6%の8,098 t。

輸入	12月	1月	2月
新地金	10万261 t	10万9337 t	7万1971 t
前年比	-6%	-26.8%	-28.8%
二次合金	8万5400 t	8万7350 t	8万2184 t
前年比	-15.2%	-11.3%	-1.6%
スクラップ	805 t	1023 t	260 t
前年比	+20.5%	+60%	-42.5%
合金スクラップ	6872 t	9075 t	8098 t
前年比	-16.8%	-14%	+26.6%

<https://nikkankinzoku.co.jp/>  
PW: nikkin202304

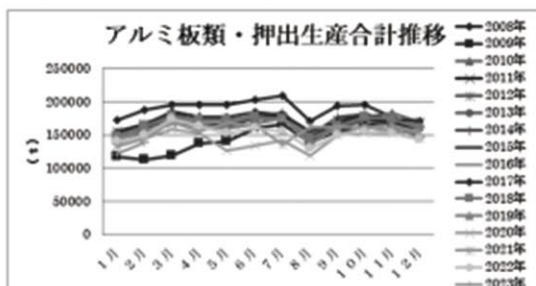
## 輸入推移



出典 財務省貿易統計

## 【アルミ圧延・押出生産数】

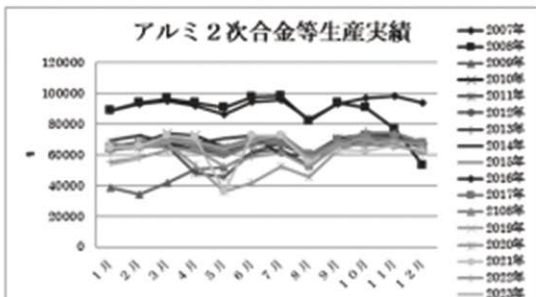
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6.5%の13万9,256 tで11カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

## 【アルミニウム二次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-0.5%の5万7,597 tで3カ月連続マイナス。  
出荷は+1.8%の5万9,262 tで3カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム合金協会

亜鉛くず 現金高価買取  
亜鉛ドロス・滓 ご照会をう

再生亜鉛精錬

日進産業株式会社

代表取締役 星山 えり

〒580-0006 松原市大堀1丁目7-30

TEL 0723-31-3945代表

FAX 0723-31-3974

## ■国内概況まとめ

## 【自動車生産】

生産動態統計によると2月の自動車生産台数は前年比+6.9%の70万1,312台。輸出は前年同月比+0.9%の29万2,956台。

## 【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると3月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+15.7%の37万8,557台。

内訳は乗用車+16%、貨物が+13.1%、バスは+17.8%。

## 【住宅着工戸数】

2月の新設住宅着工は、貸家は増加したが、持家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比0.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比3.8%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は64,426戸。前年同月比0.3%減、先月の増加から再びの減少。

○新設住宅着工床面積は5,201千㎡。前年同月比1.5%減、先月の増加から再びの減少。

○季節調整済年率換算値では859千戸。前月比3.8%減、3か月ぶりの減少。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6.5%の13万9,256tで11か月連続マイナス。

板類は8万7,711tの-7.1%で10か月連続マイナス。  
押出類は5万1,545tの-5.3%で14か月連続マイナス。

## 【アルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績】

前年比-0.5%の5万7,597tで3か月連続マイナス。  
出荷は+1.8%の5万9,262tで3か月連続マイナス。

## 【輸出】

新地金は+124.4%の267t。  
二次合金は-30.3%の885t。  
スクラップは+15.8%の2万9,259t。  
アルミ缶は-12.1%の5,205t。

## 【輸入】

新地金は-28.8%の7万1,971t。  
二次合金は-1.6%の8万2,184t。  
スクラップは-42.5%の260t。  
合金スクラップは+26.6%の8,098t。

## 【見通し】

## 【自動車】

2月の自動車生産が+6.9%。3月国内販売台数が前年比+15.7%。2か月連続で生産、販売共に回復の兆しあり、今後に期待。



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8  
電話 06-6649-0045 代表〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5  
電話 06-6561-7331~2

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-6.5%の13万9,256tで11か月連続マイナス。

ゼロコロナ政策の名残で弱電系の生産需要が遅れてる事から来月も期待薄。

## 【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比-0.5%の5万7,597tで3か月連続マイナス。  
出荷は+1.8%の5万9,262tで3か月連続マイナス。

日本の自動車生産販売は堅調だがアフターコロナにおける中国景気の失速からの安い中国塊が入ってきており、スクラップ需要は緩む。

## 【スクラップ景況予想】

流通(一次屑屋)在庫は前月に続き欧米の金融引き締め策からLME価格が2,300-2,400ドルと前月から下落。自動車生産、住宅着工とも回復基調にあるが今月はまだ入荷も少なそう。需要面に関してアフターコロナにおける中国景気の失速からの安い中国塊が入ってきており、スクラップ需要は緩む。

## 【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①欧米の金融政策 ②中国景気回復の動向。

①に関しては、米FRBや欧ECBの昨年からのインフレ抑制の為の上上げによる金利負担からシリコンバレー銀やシグネチャーが破綻したが次期FOMCが5月のため口先介入しかできず一喜一憂の展開に。

②に関しては、ゼロコロナ解除後景気回復が期待されていたがスマートフォンや自動車販売の低迷が明らかで急回復は望めないのではないか。

これらを踏まえた4月のアルミ価格は2,300-2,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は135円~140円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては、据置から-10円程度と予想している。

(「3月のアルミ概況及び4月の見通し」おわり)

鋼・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265